ゆとりも

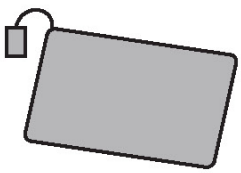
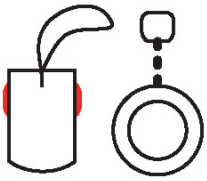
高齢者徘徊通報システム

どこ行くの検知器

「ねぇねぇ、どこ行くの…」ご家族の徘徊にお困りの方へ

徘徊時に起こるアクシデントは、転倒等によるケガや事故だけでなく、季節の温度変化により体力を消耗し、死亡や重症に至ることなども考えられます。徘徊を防止するには、身体を拘束するのではなく「なぜ外出したいのか、どうしてそこへ行きたいのか」を受け止めるメンタルケアが最も望ましいとされています。しかし、常に目を離さず見守るのは介護者・看護者にとって非常に大きな負担です。
「どこ行くの検知器」は徘徊者に精神的な負担をかけず、介護負担・看護負担を軽減するための徘徊通報システムです。

従来製品との機能比較

	従来の徘徊検知器			「どこ行くの検知器」
	マット型	発信器型	携帯型 (GPS 位置通報型)	
機器形状				
検知方式	ベッドから降りた時、また出入口を通った時にマットを踏むことで検知する。	ペンダント型、お守り型等の発信器を徘徊者に携帯させ、外出した時に検知する。	GPS(位置通報機能) のついたタグや携帯電話等を徘徊者に携帯させ徘徊に気づいた時に位置情報を調べる。	認証キーを携帯していない人（徘徊者）が監視機を設置した出入口等を通過するときに検知する。 認証キーは、徘徊者以外の介護者、家族等が携帯する。
誤検知状況	マットをベッドの下に押し込んでしまったり、マットをよけて通ってしまうなど、検知できないことがある。 また、誰が踏んでも検知してしまうので、検知対象者を限定できないことがある。	徘徊者が発信器を携帯しない、捨てる、壊すなど、携帯を徹底できない。 監視されていることを意識させてしまうため本人が携帯を拒むなど精神的な負担をかけてしまうことがある。	介護者が徘徊に気づいた時に居場所を探索するため、徘徊の経過時間が長くなり、アクシデント等のリスクが高まる。 「目が離せない」という介護負担はあまり軽減できない。	検知対象者を特定できるため、誤検知を減少できる。 認証キーを携帯していない人を検知するため、不審者を検知することもでき、防犯効果も期待できる。 認証キーを携帯するのが介護者や家族の為携帯忘れや、捨てる、壊すなどの心配が要らない。

「どこ行くの検知器」のしくみ

介護者・ご家族が検知器前を通過すると…
※認証キーを携帯

リビングなどで
・・・
認証キーを認識

徘徊者が検知器前を通過すると…

通過者を検知

リビングなどで
アラーム or メロディー or LED が点灯

不審者が検知器前を通過すると…

通過者を検知

リビングなどで
アラーム or メロディー or LED が点灯

製品一覧

	警報器	監視器	認証キー
外観写真			生活防水
電源	AC100Ｖ±10%	AC100Ｖ±10%・単３電池３本	コイン電池
外形寸法	H: 101×W: 133×D: 34[mm]	H: 126×W: 129×D: 31[mm]	H: 68×W: 32×D: 11[mm]
使用環境	温度：-10 ～ 40℃　湿度：40 ～ 80%	温度：-10 ～ 40℃　湿度：40 ～ 80%	温度：-10 ～ 40℃　湿度：40 ～ 80%
通信方式	特定小電力無線	特定小電力無線・微弱無線	微弱無線
ご提供価格	基本セット内容：警報器・監視器・認証キー　各１個ずつ **オープン価格（※介護保険対象福祉用具です）**		

監視器設置参考例

■ 監視器の基本的な設置

■ その他の機器との連動による応用

PC・インターネットを利用してメールを送信

防犯カメラ・インターネットを利用してメールで画像を確認

安全にお使いいただくために

ご使用の際は必ず「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。誤ってご使用された場合の保証及び事故については、弊社では責任を負いかねますので予めご了承ください。本製品は、介護者の方の手助けをするものです。徘徊者の安全や防犯を保証するものではありません。
商品の改良のため、仕様・外観及び価格等を予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

【開発・製造元】株式会社 カウベルエンジニアリング
URL ：http://www.cowbell.co.jp/

お問合わせはこちらまで　《どこ行くの検知器 販売代理店》
長野県パトロール株式会社
URL ：http://www.np-c.co.jp/　Mail：sales@np-c.co.jp
ゆとりも専用フリーダイヤル　0120-26-7322